

福岡県民と医師をつなぎ、あしたの健康へとつなぐ

vol. 17

2020
SPRING

えかきおから

医療ブック



東京2020
オリンピック・パラリンピック開催に
向けた感染症対策



福岡県医師会

東京2020
パラリンピック
推薦内定選手

©福岡県出身アスリートインタビュー
「女子ゴールボール 浦田 理恵選手」

2020年 東京オリンピック・パラリンピック 開催に向けた感染症対策を知ろう！

オリンピック・

パラリンピックは

「マスギヤザリング」

2020年、日本でオリンピック、パラリンピックが開催されます。

「マスギヤザリング」 では感染症が蔓延！

マスギヤザリングでは災害や感染症、テロなどが起こる危険性があります。災害やテロは未然に防ぐことは難しい

ですが、感染症は意識することで自分の身を守ることができます。医療の観点から感染症の予防について説明します。

感染症の蔓延の条件は、次の2点です。

過密：生活・衛生環境の悪化
移動：病原体の持ち込み

オリンピック パラリンピック

- 柳川市、●みやま市、●みやこ町、●築上町

オセアニア 15 の国・地域

マスギヤザリングとなるオリンピック・パラリンピック期間はこの2つの条件が満たされ、感染症の蔓延が予想されます。政府や医療機関関係団体では、感染症の蔓延に備え多くの対策を講じています。

感染症に注意が必要なのは開催地だけではありません。

福岡県でも、数多く実施される大会キャンプ開催地だけの問題と思われがちな感染症問題。

実は私たち福岡県民にもまったく無関係な問題ではありません。



オリンピック

●北九州市

パラリンピック

タイ(卓球、テコンドー)
コロンビア(空手 他)

英国(車いすラグビー)
ドイツ(車いすバスケット女子)



パラリンピック

●田川市

ドイツ
ペラルーシ
(車いすフェンシング)



例えば、「人の多く集まる場所や公共交通機関の利用時には必ずマスクを着用する」「帰宅時には忘れずに、うがい、手洗いをを行う」といった基本的な対策を心がけてください。

というのも、福岡県内でも下の図のように多くの大会キャンプ地が用意され、聖火リレーも予定されているからです。さらに、東京にオリンピック観戦に赴く県民も少なくなく、私たち一人一人が、日常生活上の対策で感染症に備える必要があります。

福岡県内12箇所の自治体に 28の国・地域からキャンプに来福

★福岡県の東京2020大会キャンプ地・ホストタウン
(令和元年10月15日現在) ※福岡県ホームページより

●ホストタウン

感染症の対策は 日常生活から



国際的マスクギャザリングの際に心配される麻疹、風疹、侵襲性髄膜炎などの感染症はワクチンで防ぐことができます

健康に不安がある方、妊娠の予定がある方は、ワクチンの接種を検討ください。

オリンピック

●宗像市

ロシア (7人制ラグビー女子)
ブルガリア (柔道)



オリンピック

●古賀市・福津市

ルーマニア (柔道)



パラリンピック

●飯塚市

南アフリカ
(車いすテニス、水泳競技)



オリンピック

●福岡市

パラリンピック

スウェーデン (全競技)
ノルウェー (全競技)
※ボート、カヌー除く

スウェーデン
(水泳・陸上等4競技)



オリンピック

●久留米市

ケニア (陸上競技 他)
カザフスタン (柔道 他)



●大牟田市

ジョージア





今 年は、いよいよ東京パラリンピックが開催されます。私自身もゴールボールの選手として、4度目のパラリンピック出場を目標に日々練習に励んでいます。

視力を失い、

明日まで見えなくなりました

目 が見えなくなつたのは、20歳の頃でした。当時、小学校の教諭という夢に向かって、慌ただし毎日でしたが、網膜色素変性症という病にかかり、日に日に目が見えなくなつていきました。それまでは当たり前にできていた勉強や日常生活がスムーズにできなくなるのが不安で、嫉妬、悔しさも相まって、家族や友人に「目が見えない」と言えないまま約1年引きこもっていたんです。



今

振り返れば、「目が見えること」が、当たり前で「目が見えないことは恥ずかしい」という考えがあったのだと思います。そんな意識を変えてくれたのは、周囲の支えでした。家族は、「実家に戻って来い」と言いたい気持ちを抑え、「仕送

RIE URATA

東京2020パラリンピック
ゴールボール女子推薦内定選手

「シーズアスリート」所属

浦田 理恵さん

りは続けられるから福岡でやりたいことが見つかるまでがんばってこらん」と自立を後押ししてくれました。当時は、「何で助けてくれないの?」と思いましたが、あの時手を差し伸べられていたら、私はもう自分の力で生活し、前に進むことはできていなかったかもしれません。

医

療関係の皆さんにも支えられました。実は、視力を失っていることに気づいてからも、本当のことを知るのが怖くて、しばらく眼科に行けなかつたんです。満を持して行った時には、やはりもう治らないという事実を知り、「私の人生終わってしまった」と思うほどショックを受けました。もう夢も叶わないし、この先の未来に楽しいことないとないと勝手に落ち込んだんです。でも、医師の先生から「視覚障害を持った方がたくさん集まる訓練校があるから、まずはそこに行ってみましょう」と言われました。当時の私にとっても勇気の要ることでしたが、そこに行くと、自分の足で歩き、趣味や仕事に一生懸命になっている方ばかりで、みんな笑顔だったんです。「何で笑っていられるの?」と驚いたことを覚えています。そこから徐々に考え方が変わってきました。「視覚障害があるから仕事ができなわけじゃない。趣味や楽しいことだっけ見つけれらるんだ。人生終わってたなんて決めつけていたのは私だけだ」ということに気づきました。そし



voice

—
見えない＝
できないんじゃない。
自分の未来を信じて。

て自分の可能性を広げるために、鍼灸とマツサージの資格を取得しました。

失ったものより

できることに目を向けて

ま

た、アテネパラリンピックで視覚障害者がゴールボールをしているのを知り、「私もやってみたい」と火が点いたのです。運動経験もなかったのに「一念発起して選手になり、ロンドンでは金メダルを取ることもできました。」

目

が見えていた頃より見えなくなつてからの方が「できないことなんてないのかもしれない」と思えます。いろんなことに挑戦し、達成することもできています。やる前から「きつとダメなんじゃないか」「どうせ無理だろう」なんて、限界を決めてしまつていたのは他でもない私だったんです。何かを失うと、ついでに足りないものに引きずられてしまいますが、できることを大切にすればいいと今なら思えます。

ゴ

ールボールは、3対3で争う球技です。全員アイシールドをつけ、鈴入りのボールを転がして投球し、相手のゴールにシュートできれば得点となります。ボールの中の鈴の音はもちろん、ボールが転がる音や選手の体に当たった瞬間の音を聞き分け、戦略的に攻守を繰り返します。今年は、貴重な母国開催です。ぜひ応援よろしくお願いします。

profile

うらた りえ
浦田 理恵 さん

ゴールボール選手
「シーズアスリート」所属

1977年、熊本県生まれ。20歳の頃に網膜色素変性症を患い、視覚障害者に。ゴールボールの日本代表として、パラリンピックの北京・ロンドン・リオデジャネイロ大会に出場。ロンドンでは金メダルも獲得。現在は講演会なども行う。



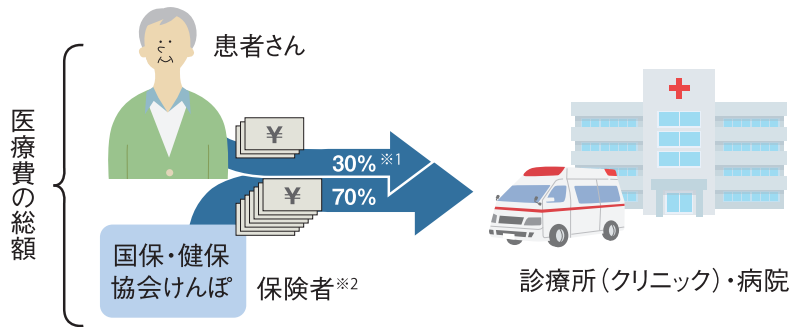
知って
いますか？

■ 私たちが支払う医療費

私たちが、患者として受ける診察や検査などの医療行為にはそれぞれ値段が定められており、医療行為ごとの料金と医薬品代を合わせた合計額が「医療費」です。私たちは医療費のうちの3割※1を医療機関の窓口で支払い、残りの7割は保険者（加入している国民健康保険・全国健康保険協会・健康保険組合など）から支払われる仕組みです。

■ 診療報酬とは

一方、診療報酬とは、保険証を提示して受けた医療行為に対して、医療保険から医療機関に支払われる料金のことです。



※1 小学生未満・70～75歳は負担2割、75歳以上(一般的な所得者)は1割

※2 保険者が負担する医療費の一部は公費(税金)から支出されています。

診療所(クリニック)・病院の運営費用は 診療報酬の中から賄われています。

診療所(クリニック)・病院における、医療スタッフ(医師・看護師など)の人件費や医薬品・医療材料の購入費、施設を維持・管理するための費用は診療報酬で賄われています。

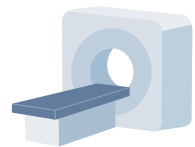
人件費

看護師・理学療法士・臨床検査技師・医師、その他職員の給与・福利厚生など。



医療機器・機材費

医療機器の購入・リース費や、医療消耗器具・備品、診療材料費など。



医薬品費

検査や治療で使う薬品や、調剤・在庫の管理等にかかる費用。



設備関係費・その他維持費

病棟・病室の環境整備、事務所の維持費、水・光熱費など。



※2020年に診療報酬改定が行われます。医師等の働き方改革の推進、皆さんに安心・安全で質の高い医療を実現するための取り組みなど、効率化・適正化を通じた制度の安定性・持続可能性の向上が図られます。

第6回作文コンクール 「心のふれあい大賞 わたしのまわりの医療体験」 表彰式を行いました。

福岡県医師会では毎年、県民の方を対象に、医療従事者と患者さん、その家族との信頼関係にスポットをあて、病気になった時に感じたことや介護にまつわる経験、お医者さんや看護師さんとのふれあいなど、医療・介護に関する体験記を募集しています。今年度は一般、中高生、小学生の3部門に計282点のご応募をいただきました。選考の結果、特に心に残る素晴らしい作品をお寄せいただきました、11名の方々の表彰式を1月25日(土)JR九州ホールに於いて開催し、表彰状と副賞を贈呈致しました。



表彰式の様子



受賞者集合写真

一般の部

- 最優秀賞 「ありがとう」 原田 杏美さん
- 優秀賞 「信頼関係は魔法の薬」 F・Mさん
- 優秀賞 「感謝の勳章」 笹淵 恵美さん
- 優秀賞 「湧き出る力」 森 真理子さん

中高生の部

- 最優秀賞 「在宅医療」 喜久田 碧さん(高2)
- 優秀賞 「私の夢と医療体験」 作田 光汰朗さん(高1)
- 優秀賞 「本当の医療ってなんだろう」 北田 晃太郎さん(中1)
- 優秀賞 「難病と闘う弟」 副島 美結さん(中2)

小学生の部

- 最優秀賞 「入院って悪くない」 清武 琳さん(小5)
- 優秀賞 「K先生とわたし」 舍利倉 ことほさん(小2)
- 優秀賞 「わたしの小ゆびとときせきの先生」 島山 真理子さん(小2)

なお、本コンクールの作品集をホームページにて公開していますのでご覧ください。
次年度も今年度同様開催を予定しておりますので県民の皆様のたくさんのご応募お待ちしております。

医師会からのお知らせ

Medical Association





第18回 医療モニター 募集

医療モニター制度 『メディペチャ』でご意見発信を

県民の皆様と医師が医療についてペチャクチャお喋りする会です。

ブロック	第1回開催日	第1回目会場	応募締切(当日消印有効)
北九州	令和2年8月29日	KMMビル(北九州市小倉北区)	令和2年7月28日
福岡	令和2年8月1日	天神ビル(福岡市中央区)	令和2年6月30日
筑豊	令和2年9月5日	飯塚医師会館(飯塚市)	令和2年8月4日
筑後	令和2年8月22日	久留米ホテルエスプリ(久留米市)	令和2年7月21日

※年3回、土曜日の15～17時を原則と致します。

※日程、場所は変更となることがございます。※選考結果は、発送をもってかえさせていただきます。

◎応募資格:福岡県に居住する20歳以上の人(男女問わず・定員各地区10名)

◎開催回数:令和2年8月1日～令和3年3月31日の間で各ブロック3回

◎謝礼:15,000円(交通費含む)1回5,000円※交通費含む×3回

◎応募方法:下記の必要事項を記載の上、以下の方法でお申し込みください。

- ①住所、氏名(フリガナ)、電話番号、生年月日、年齢、性別、職業
- ②希望するブロック
- ③メディペチャを知ったきっかけ(ポスター、○○新聞、えがおから医療ブック等)
- ④医師会や医療全般に対して感じていること(200字程度)

📞 ハガキ 〒812-8551 福岡市博多区博多駅南2-9-30
福岡県医師会館4階 福岡県医師会総務課「医療モニター係」
📠 FAX 092-411-6858 ✉ e-mail medi-pecha@fukuoka.med.or.jp

応募用紙は福岡県医師会ホームページからもダウンロードできます。<https://www.fukuoka.med.or.jp/>

救急医療情報センター

(広域災害医療情報センター)



または 092-471-0099 (自動音声応答 FAX 092-415-3113)

※FAXによるサービスは医療機関の案内のみです。

「福岡県救急医療情報センター」は、救急医療施設や協力医療機関から収集した情報をもとに、24時間体制で救急患者からの問合せに対応するとともに、消防機関などへ必要な医療機関情報を提供しています。また、救急電話相談では、症状に基づき緊急性の有無や受診の必要性について、看護師がアドバイスしています。

福岡県 小児救急医療電話相談

お子さんが急な病気やケガで心配なとき、ご相談ください。

平日 19:00～翌朝7:00
[相談時間] 土曜 12:00～翌朝7:00
日祝 7:00～翌朝7:00

◆プッシュ回線電話(携帯電話も可)からは

8 0 0 0

#8000は(子ども)病気の相談事業であり、医療行為は出来ません。

◆ダイヤル回線電話からは専用電話番号へ

・北九州地区…093-622-6700
・福岡地区…092-661-0771
・筑後地域…0942-37-6116
・筑豊地域…0948-23-8270

福岡県・福岡県医師会

※23時以降および土日祝の19時までは専用のコールセンターで対応しております。

休日・夜間対応急患センター ※応急的な処置を行うセンターです ※受診前に、必ずお電話にてお問い合わせください

北九州市立夜間・休日急患センター	TEL 093-522-9999	〒802-8560 北九州市小倉北区馬借1-7-1
福岡市急患診療センター	TEL 092-847-1099	〒814-0001 福岡市早良区百道浜1-6-9
糸島市休日夜間急患センター	TEL 092-329-1190	〒819-1112 糸島市浦志532-1(糸島医師会病院東隣)
宗像地区急患センター	TEL 0940-36-1199	〒811-3431 宗像市田熊5-5-5(宗像地域医療センター1階)
朝倉地域休日夜間急患センター	TEL 0946-23-0077	〒838-0069 朝倉市来春422-1(朝倉医師会病院内)
行橋京都休日夜間急患センター	TEL 0930-26-1399	〒824-0002 行橋市東大橋2-9-1(行橋京都メディカルセンター)